

## 2012年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2012年 11月 19日
留 学 先 大 学	モントリオール大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 教養学部 政治学科, (現地言語での名称): Département de science politique, Faculté des arts et des sciences <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2012年10月ー2013年5月
明治大学での所属	___学部___学科___専攻 / 教養デザイン研究科教養デザイン専攻
学年(出発時本学での学年)	学部 年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

日本を出発するまでに必要な事務手続き、現地到着後に必要な事務手続き、及び帰国後に必要な事務手続きが何かを整理し、日本でしかできないことを出発半年前の時点で把握しておけばよかったですと後悔しています。私の場合、都合により出発がかなり早く、日本では学期途中の6月末出発でした。そのため、準備が非常に慌ただしくなってしまう、州の滞在許可証と学生ビザ取得に非常に手間取ってしまいました。通常だったら夏休み頃に出発すればいいと思いますが、留学前は何かとすべきことがかさんでくるので、「何が必要になるのか」の整理は、それを考えるのには早すぎるかなというタイミングで始めるのがちょうどいいかと思います。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 就学許可証(Study Permit/ Permis d'études)	申請先: カナダ移民省(オンライン申請)
ビザ取得所要日数: 3週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 125カナダドル
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
①入学許可証、②受入期間が明記されている留学先からの手紙、③ケベック州滞在許可証、④残高証明書または収入証明書、⑤CV(履歴書)、⑥電子ファイルの証明写真、⑦クレジットカード	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
①留学先大学からの入学許可証が来たらケベック州移民省のHPにてケベック州の滞在許可証を申請する(書類を日本から送り、現地に着いてから1週間~10日程度。必要な書類はビザとほぼ同じ)②ケベック州の滞在許可証が入手できたらカナダ移民省のHPにてアカウントを作成し、オンライン申請を行う。③HP上の指示に従って、各種質問に英語またはフランス語で答えていく(質問は単純な個人情報から現地での学習内容、留学動機、留学が日本での就職にどのように役に立つのかといった質問まで含まれている。)④すべての質問に答え終わると、必要書類をアップロードする画面になるので、それぞれアップロードしていく。⑤画面上で申請費用の決済を行う。⑥申請受付が完了してから3週間すると、移民省からメールが届くので、メールが届いた時点で再びログインする。⑦申請結果の手紙をプリントアウトする。⑧カナダに到着し、空港の入国審査で申請結果の手紙を見せて、空港内の移民局にて最後の申請手続きを行い、そこで就学ビザが正式に入手できる。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
2012年5月1日より日カナダ大使館でのビザ申請受付は終了しました。上記のオンライン申請ができない場合は、日本人は在フィリピン大使館へ書類申請することになります。その場合にも面接はないはずですが。	

## ビザ取得に関して困った点・注意点

- ①カナダの中でもケベック州だけはビザ申請前にケベック州の滞在許可証(Certificat d'acceptation du Quebec, CAQ)を事前に取得しておかなくてはなりません。必要書類はビザとほぼ同じです。ケベック州の「文化共同体と移民省」の HP にアカウントを作成し、HP に記載されている手順に従って手続きを行います。ビザと違うのは、CAQ は書類を郵送し、受理された後電子ファイルだけでなく紙媒体のオリジナルが郵送されてくる点です。(私の場合、EMS で送ったのに 3 週間ほどたっても州移民省に届かず、直接電話をして書類を探してもらってようやく受理されました。そのせいで、ビザ申請も予定よりはるかに遅れてしまいました。尚、申請状況はオンライン上で常に確認できます。)
- ②在日カナダ大使館の HP にはほとんど情報は載っていません。直接カナダ移民省の HP にアクセスし、英語またはフランス語で必要情報を集めることになります。HP は非常にわかりにくいですが、見るべきページは「オンラインの就学許可証」に関するページです。
- ③基本的に、申請前に就学許可証取得に関して疑問や不明瞭な点があっても、問い合わせをする手段がありませんでした。作成したアカウントからログインした状態でメールで質問することはできますが、それでもはっきりしないことも多いです。電話で質問したい場合には在フィリピン大使館に電話しなければなりません。申請が完了する前の質問は録音メッセージしか聞くことができません。申請受付が完了するまでに何かわからないことがあった場合には、すべて自分で HP に書いてあることから判断することになります。(そのため非常に不安なのですが、2012 年 5 月から導入されたシステムなので、ネットで体験談等探してもまだあまり情報がありませんでした。)
- ④オンライン上の質問事項に答えていく際、一度すべての質問に答え終わるまでは前の質問に戻ることはできません。何か失敗があった場合には、0 から申請をし直すことになります。その代り、一度申請を受け付けられた後に発生した問題に関しては、アカウントナンバーを変更することができず、今後カナダとの手続きはすべて同じ番号で認証されることになります。
- ⑤ビザ手続きはカナダ空港で完了します。出発時には就学許可証の発行許可の手紙と CAQ の二点を必ずプリントアウトした状態で手荷物に入れて出発してください。空港を出てしまうと、一度外国へ行って再入国しなくてはなりません。
- ⑥インターネット上での就学許可証を申請しますが、カナダ国内からは絶対に申請できません。(私はこの点を勘違いしていて、6 月に出発したものの 8 月に一度帰国して再申請するはめになりました…。)絶対にカナダ国外からオンライン手続を行ってください。
- ⑦ただし、申請が無事に受理された後はカナダに入国できます。(たとえば、申請したものの就学許可証が下りる前に出発しなければならぬ場合など)。その場合は、観光客として入国し、就学許可証の発行許可の手紙をメールで受け取ったあとにアメリカなど近隣国に一度出国し、再入国する際に入国目的を留学であることを伝えれば、そこで就学許可証が発行されます。

## Ⅱ-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

### その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

気候と荷物・冬服について。

出発時期にもよりますが、冬服はすぐに必要になるので、8月の時点では、半そでだけでなく長袖やジャケット、はおるものも手元にあった方がいいと思います。8月は暑い日と寒い日が極端なので、夏服も秋服もどちらもスーツケースに入れて持って行った方がいいでしょう。冬用のものは、あとから荷物で送れば良いと思いますが、それでもなるべく早く現地で受け取れるよう準備しておく方がいいと思います。真冬のもは現地で10月末から11月初頭をめやすに調達すればいいですが、非常に費用がかさむので、ある程度調べて予算を組んでおいてもいいかもしれません。参考までに、ジャケット300~500\$程度、ブーツ150\$程度ならば-25℃で大雪でも過ごせる質のものを買えます。今年は、10月末から急に寒くなって、ここ数週間は最低気温-3℃、最高気温4℃という日が多いです。1, 2月の平均気温は-20℃~-30℃くらいにまで下がるそうです。聞いた話ですが、日本の豪雪地帯ほどの大雪ではないけれどそれに準じる量は降り、また気温は北海道よりも低くなる、というイメージだそうです。

## Ⅲ. 現地到着後のながれ

### 1. 到着時の様子

利用航空会社	デルタ航空
--------	-------

航空券手配方法	HIS の支店で直接購入 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	モンリオール、トゥルドー航空	現地到着時刻	19:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	1 時間程度				
<b>空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等</b>					
<p>空港から市内へ出るシャトルバス「787」に乗り、中心市街に着いてからメロに乗りかえるのが最も安いです。「787」バスはモンリオールのバス・メロ一日乗車券を購入すれば乗ることができます(8ドル)。バスの終点 Berri-UQAM 駅で降り、そこからメロに乗り継ぎました。寮の最寄駅まで二回乗り換えました。尚、最寄駅から寮の受付まで非常に急な坂になっていて、空港から寮までが一番大変かもしれません。</p>					
大学到着日	9 月 19 日 23 時頃				
<b>2. 住居について</b>					
到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:    月    日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他(    )				
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他(    )				
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他(    )				
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他(    )				
住居の申込み手順	モンリオール大学国際事務室を通じて、寮へメールで連絡				
<b>住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？</b>					
<p>到着時刻が 16 時以降だと寮の受付が閉まってしまうため、共同寝室で一晩あかすことになりました。私の場合、飛行機到着時刻が 19 時半ころで、それから空港内で就学許可証の最終手続きに 1 時間半以上かかったため、寮についたのは 23 時ころでした。日本を出発してから 30 時間ほどたっていたので疲労もピークでした。モンリオールの地理を少し知っていたので深夜でもさほど迷わず寮に到着することができましたが、初めていく場合には絶対に日中明るうちに到着するフライトを選んだ方がいいと思います。モンリオール大学周辺は閑静な住宅街といった地域なので、夜間に道に迷ってもあまり人がいない可能性がありますので、到着時には注意した方がいいかと思えます。</p>					
<b>3. 留学先でのオリエンテーションについて</b>					
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
日程	複数ある中から自分で選択				
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加				
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:    )				
内容と様子は？	留学生の大半はフランス人なので、留学生向けガイダンスといつつ、フランス語がほぼわかる前提で説明が進められているという印象を受けました。また、このガイダンス時に就学許可証とCAQを持参して大学に登録し、後日学生証を受け取ることになります。				
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
授業開始日	10 月 1 日から				
<b>IV. その他、渡航してから必要な手続きについて</b>					
<b>1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？</b>					
なし					

**2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？**

留学生用の保険をモントリオール大学に支払う。外務省のHPにアクセスし、在留届を申請する。

**3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？**

【手続き・必要書類】身分証2つ、現地住所を持参して銀行にいき、口座新規開設のための予約をとります。(私の場合は運良くその場で開設できました。)料金は特にかかりません。現地で口座を開くためには、日本でトラベラーズチェックを必要分購入しておき、それを口座開設時に銀行に渡すという方法が一番楽で安くすむと思います。口座開設に必要なものは、身分証明証二つと現地での住所、それだけです。非常に簡単に開設できます。尚、大手銀行は複数ありますが、モントリオール大学内に Banque nationale の ATM があるので、Banque nationale を選びました。

また、私は盗難にあったときにデビットカードを紛失しましたが、電話でカードを止め、翌日身分証明書を持って銀行にいけばすぐにその場でカードを再発行してくれます。非常に簡単でした。

**4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？**

携帯ショップへ行き、新規契約の旨を伝えて購入しました。2年契約ならば0円という機種を購入したので、帰国時に違約金を支払って契約解除をする予定です。必要書類は確か身分証があれば大丈夫だったと思います。

尚、大学キャンパス内やショッピングセンター、ほとんどのカフェなど、多くのところで無料wifiがつながっていることもあり、iPod touchを持っていたので、スマートフォンモデルの必要性は感じませんでした。月額40ドルらしいプランです。

購入後、手荷物の盗難にあつて携帯を紛失しました。改めて携帯電話を購入する時は、一回目に購入したときの「2年契約」を破棄したと見なされ、店頭で0円と表記されてるモデルも通常価格(80\$くらい)を支払うはめになりました。この点は少し日本とシステムが違うかもしれません。

**V. 履修科目と授業について**

**1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？**

出発前に( 月 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に(9月23日頃)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他(指導教授のサインを得てから書類を研究科事務室へ直接提出)

登録時に留学生として優先されることは  あった  なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

指導教授と相談し、サインを得てから書類を研究科事務室へ直接提出

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

**2. 履修単位数**

一学期の登録単位数・科目数を教えてください。

2科目6単位

多すぎた  ちょうど良い  少なすぎた

留学先大学の学生は週平均何科目とるのが一般的ですか？ 2科目/週(6時間)くらい

**3. 授業内容**

現在までに受講している授業はどのように授業が進められていますか？(予復習、テスト準備など、アドバイスもご記入下さい。)(下記授業の履修時期:2012年10月から2013年1月)

No.	コース名／教授名	時間数／週	留学先での単位数
1	Séminaire général POL-7005, Prof. Dufur	3 時間授業が週 1 回	3
<p>博士課程の必修の授業で、学生は 20 人弱。毎週テキスト 5 本程度の必読文献の予習が課されている。文献の多くは英語。5つのテキストのうち1つは一冊の本を通読しなくてはならないときもある。“The Ways of Knowing”(J.Moses&amp;T.Knutsen, 2en ed. 2012)をベースに、政治学及び社会科学における自然主義と構成主義の方法論について批判的に学習し、研究者として自らの方法論・認識論・存在論上の立場を明確にすることを授業の目的としている。授業は予習の必読文献についてディスカッション 3 時間行う。ディスカッションは、7割がその週学ぶ方法論についての理解を深める内容で、残り時間で実際にその方法論によってなされた研究について、学んだことに照らして批判的分析を行っている。成績評価について、発表はないが、月に 1 回、合計 4 回のレポート(10 ページ)の提出がある他、平常点(議論への参加度)で評価される。レポートは提出した翌週添削されて返却される。</p>			
2	Villes et politiques publques, POL-6512, Prof.Bherer	3 時間授業が週 1 回	3
<p>修士・博士の両学生が履修できる授業。学生数は 10 人程度。毎週論文 3 本(主に英語)の必読文献が課されており、授業ではそれについて議論する。学期中に一度すべての学生が当番制で、予習文献に関する批判的レポート(10 ページ)を作成し、当番となる授業のときに当該授業の学習内容についてプレゼンテーション(20 分)を行う。その内容は、その授業に課されている 3 本の論文の共通の論点、共通する基本的概念や論文筆者の方法論の長所短所等を批判的に分析することが求められる。私の当番は 10 月末にあり、すでに終わったので非常にほっとしている。さらに、学期中 4 回必読文献の中から1つテキストを選んで1ページのレジюмеと論点分析レポートを作成することが課されているほか、学期末には最終レポート(20 ページ)があり、自分で自由に問題設定を行って授業の集大成となるレポートを作成する。</p>			

#### VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00	8:30～授業 総合演習						
9:00	授業	図書館で勉強	図書館で勉強	図書館で勉強	図書館で勉強	起床	起床
10:00	授業					家族や日本の友人とスカイプ	図書館で勉強
11:00	授業～11:30						
12:00	授業の友人と昼食					友人と昼食	
13:00	帰宅			13:00～授業 「都市と公共政策」			
14:00	日用品や食材買出し			授業		カフェで勉強	
15:00	帰宅、洗濯、昼寝			授業			
16:00	自室で勉強			16:00 授業終了			
17:00				授業の友人とコーヒー			帰宅、夕食
18:00	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食		帰宅、夕食	シャワー
19:00	シャワー	シャワー	シャワー	シャワー	シャワー	シャワー	自室で勉強
20:00	自室で勉強	自室で勉強	自室で勉強	自室で勉強	自室で勉強		
21:00						自室で勉強	
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

## VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

基本的に予習が最も重要ですが、レポートがある週は予習との両立が非常に難しく、10月は3、4日徹夜に近い状態になることもしばしばでした。予習の分量によって一息つけるときがたまにくるので、そのときにまとめて休息したり、買い物したりなど気分転換をして、バランスをとっています。10月末に2週連続レポート提出だったので、非常にハードでした。レポートは月曜の朝に提出だったので、木曜の授業が終わってから月曜日までほとんど寝ないでレポートに取り組んでぎりぎり仕上げる、という感じでした。11月に入り少し落ち着いてきましたが、とはいえ基本的には予習だけでもいっぱいいっぱい、ほとんど生活に余裕はないのが現状です。修士・博士の授業ならば週2コマで十分です。3コマとったら死にます。

同じ授業をとっている留学生の友人がで、彼女とよく一緒に勉強をしているので、休憩時間におしゃべりできたり、昼食と一緒に食べたりと、勉強漬けでありつつも、楽しみながら勉強することができています。

また、本報告書を執筆している現時点で、寮の隣にあるスポーツジムで水泳を始める準備をしています。さらに、友人の紹介で剣道場がモンリオール市内にあることを知ることができたので、近いうちに実家から胴着をとりよせ、剣道を始めようと思っています。

今年度は10月に学期始まりで、現段階ではまだ授業が始まって1か月と少ししかたっていません。これまではまだ授業に慣れていなかったもので、上記のような勉強一色の生活しか送ってきませんでしたが、これからは体も動かしつつ勉強との両立を図っていきたいと思っています。

最後に寮について一言。モンリオール大学の寮は3棟からなっているのですが、共同キッチンがあるのが私の部屋のある棟だけです。私は幸運にもキッチンのある階に住んでいるのですが、事前に選ぶことはできないので、別の棟に入居していたらと思うとぞっとします。キッチンには一切物を置いてはいけなくて、調理道具、食材から洗剤に至るまですべて毎回運んでこなくてはならないので、正直なところ自炊は面倒になってきます。今のところ、時間のある時にトマトソースを大量に作って、平日はパスタをゆでるだけといった形で時間とお金を節約しています。日本食は簡単に手に入るのも、もう少し余裕がきたら和食もつくりたいなと思っています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

修士、博士課程での留学は非常にハードです。特に北米はリーディング量が多いことで有名ですが、ケベック州の場合は、分野によりますが、社会科学系の分野では基本的に文献は英語で授業や課題はフランス語となっています。日本人にとっては英語とフランス語の両方で同時に勉強していくのはハードルが高いですが、その分やりがいもあります。たくさん勉強したい人にはおすすめです。また、他の国からの留学生は英語でレポートを出している人が多いので、フランス語で課題を出すことはその努力が認められますし、先生から非常に喜ばれます。よっぽど英作文に自信がない限りは、日本人にとっては英語でもどうせ満腹に書くことができないと思うので、いっそフランス語で書いた方が絶対にいいです。

また、モンリオールという場所は非常に魅力的です。モンリオールにいれば、グローバルゼーションといっても世界は英語だけじゃないと改めて気づかされるはず。モンリオールは英語とフランス語が摩擦を生みつつも共存している非常に特異な町で、日本だけでは気付けないこと、英語圏だけでは気付けないこと、フランスでも気付けないことをたくさん提供してくれます。北米だけどフランス文化の影響かレストランの食事は非常においしいですし、日本食が食べたいければ、食材はなんでも手に入ります。フランス語圏だけど悪名高いフランスの「適当さ」や「傲慢さ」もありません。社会生活を営む上での便利さは日本とほとんど変わらず、観光的な魅力はないけれど、生活するには非常に暮らしやすい町です。文化の違いや言葉ができないことにとっても寛容です。英語に強い人も、フランス語に強い人も、ぜひモンリオールへ目を向けてみてください！